

④ソフトバンクテレコム葎葉さんからは、医療機関で、スマートフォン、タブレットなどが実際にどのように使われているのかという具体的事例を動画も活用されながら、説明していただきました。

※ここに出てくる「医療 ICT」とは、「Infection Control Team」ではなく（笑）、「Information and Communication Technology」を指します。これまでの「IT : Information Technology」と違って、テクノロジーの用途として、従来の「情報 : Information」と共に、「人と人のやり取り : Communication」が言明されています。



## 医療機関における スマートデバイス活用事例 ～医療ICT実現に向けて～

ソフトバンク テレコム 株式会社  
ヘルスケアプロジェクト推進室  
葎葉 敦史

ソフトバンクさんでは、医療介護分野において、包括的にICTを使ったソリューションを提案されています。

**当社が推進するICTのフレーム**



ソフトバンクテレコムは、ICTの力で、  
医療・介護分野における課題を解決します。



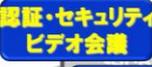
ORCA  
クラウド



SmartVPN  
VPN



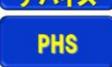
スマート  
デバイス



認証・セキュリティ  
ビデオ会議



在宅医療  
連携システム



PHS

2010年2月の厚労省通知は、クラウドについて、大きな転換点ともいえる話です。

**安全管理ガイドラインの改正**

2010年2月1日 厚生労働省 医政局・保険局 局長通知の一部改正  
民間事業者への外部保存を容認



- 2010年(平成22年)2月1日、厚生労働省 医政局と保険局の局長合同通知により、2002年(平成14年)に出された「診療録等の保存を行う場所について」が一部改正されました。
- 2002年の通知では、診断画像を含む診療録等の外部保存については、「医療法人等が適切に管理する場所、行政機関等が開設したサーバーセンター等、及び医療機関等が真正対策等の信頼管理上の目的で確保した安全な場所に置かれるものであること。」と記載されておりました。
- 今回の一部改正では、次のような記載に改められました。「医療法人等が適切に管理する場所、行政機関等が開設したサーバーセンター等、及び医療機関等が民間事業者等との契約に基づいて確保した安全な場所に置かれるものであること。」

この改正により、民間事業者が提供するサービスを通じて提供されることを示唆するものに対する外部保存が可能となります。

## クラウドが事実上解禁に！

提供：GEヘルスケア・ジャパン

今回のお話は、「地域連携」「遠隔医療」「在宅医療」「外部保存」の視点から、色々な具体的事例を示していただきました。

「さくら総合病院」の実例では、交通事故発生時の救急医療として、現場情報（写真・位置）や患者情報（画像・バイタル）などを、救急現場・救急本部・当直医・自宅の医師・大学などで共有する仕組みが示されました。また、リハビリでの iPad の OT・PT 業務での活用事例の説明もいただきました。

「浪速区医師会」の事例では、地域病院の連携によって患者の医療情報を iPad でそれぞれの病院や医師が共有され、緊急搬送の状況が改善されました（ブルーカードシステム）。FAX と iPad さえあれば、誰でもシステムに参加できます。

遠隔医療「桜新町アーバンクリニック」の事例では、在宅医療での ICT 活用として、往診時に、スマートフォンと iPad を活用し、訪問看護師・ヘルパー・在宅医・病院医師・薬剤師・ケアマネージャーなど多職種間での情報共有と連携を実現した好例でした。

### 写真・位置情報・画像・バイタルの共有

『医療法人会 さくら総合病院』(351床)  
愛知県丹羽郡大口町新宮1丁目129

救急医療 遠隔医療

救急現場: iPhone (送達写真と位置情報の送信)

救急: 救急隊

さくら総合病院: 救急本部

当直医: 救急現場

大学病院: MRI/CT画像

医師自宅: MRI/CT画像

消防: 救急現場

報共有: iPadによる

### リハビリや検査、入院説明として

**検査説明**

検査説明は動画で実施

**リハビリ**

iPad2の『数独』アプリによる機能訓練をしている患者

### 浪速市医師会 ～医師会主導の救急連携

ブルーカード

- ◎同医師会では病診連携においてiPadにて緊急搬送の状況を改善
- ◎医療情報連携システム「ブルーカード」は患者のかかりつけ医および万一の場合の搬送依頼病院などを記した文書資料(ブルーカード)で、連携病院間で共有している。

### ICTによる多職種間連携

ご利用イメージ

患者様

クラウド (SoftBank)

診療情報

共有

在宅医 看護師 薬剤師 ヘルパー 医師(院内) ケアマネージャー

「iPhone・iPad」による効果的な多職種間連携と情報共有を

職種を超えた連携が可能に!

今後、遠隔医療や地域医療のネットワーク化、また在宅医療の活性化や情報集約において、特に ICT の利活用が進んで来るものと考えられます。